

いりきり

2014年4月

第89号

あざい
リハビリテーション
クリニック

長浜市野瀬町828番地
TEL0749(76)8111
平成26年3月15日発行

上草野に薬剤師さんが来てくれます 皆さんの地域の薬局として



皆さまこんにちは。院長の松井です。
この度あざいリハビリテーションクリニックは、よりよい医療を提供するために国が推進している医薬分業を実施することになりました。平成26年5月初旬を予定に旧浅井町で初の保険薬局が開局予定です。

今までは医師の管理のもと事務員・看護師による調剤を地域の実情からやむなく提供していましたが、これからは薬剤師による調剤やサービスを提供したいと思っています。

また実績も経験も十分ある薬剤師さんなので、この地域に薬剤師という専門職の方が1名いらつしやることの恩恵を地域全体が受けられるような活動と活躍も期待しています。

以下、薬剤師の西井さんから皆様へのメッセージとなります。



初めまして！薬剤師の西井伸善と申します。

この度、縁あってあざいの皆様のお側に寄せて頂き、健康パークあざいさんの2階に「ほたるの薬局」を開設することとなりました。時期は5月初旬に「保険薬局」開設を目指し、準備を進めております。お伺いする

ころでは、旧浅井町内で保険薬局を開設する初の薬剤師とのことです。薬に関する専門性を活かし皆様のお役に立てるよう精一杯努力しますので、末永いお付き合いをよろしくお願いたします。

「ほたるの薬局」の名前の由来は「稲穂」にあります。五穀豊穡：秋に一面稲穂が実っている情景をご想像ください。当薬局ができることで皆様の健康生活がより一層実りある豊かなものとなるよう努めたいとの想いでネーミングしました。

ここで「保険薬局」の機能についてご紹介します。

① 医薬分業にはメリットがあります

医薬分業という言葉をご存知でしょうか？
国（厚生労働省）の方針として、国民医療の質的向上を図る目的で「医薬分業」を推進しています。一部コストがかかりますが、医薬分業による「処方せん」で、医師と薬剤師が処方チェックし合い、より安全で質の高い薬剤治療が出来ることや、薬剤師から服用するお薬について十分な説明を受けられるなどのメリットがあります。

② 今後は医療機関でもらう「処方せん」が大切になります

多くの方が今まではクリニックで「お薬」をもらわれていましたが、5月からはクリニックで「処方せん」を受け取って保険薬局にお持ちいただき、お薬を受け取っていただくという流れに変わります。処方せんとはお薬を受け取って頂くための「薬の内容を指示したもの」です。

直接処方せんを窓口にお持ち頂いても良いですし、病院・クリニックによってはファックス等で保険薬局に処方せんを送信してくれるところもあります。そうすることで、保険薬局が前もって調剤を開始できるので、少な

い待ち時間でお薬を受け取ることが期待できます。ただしその場合は、処方せんの原本は忘れずご持参下さい！

③ 病院の処方箋も取り扱えます

様々な薬局の中で保険指定を受けた薬局であり、健康保険を使った処方せんの調剤ができる薬局のことです。ほたるの薬局も保険調剤ができる薬局となります。

保険薬局ですので市立長浜病院や長浜赤十字病院に受診中の方も、当薬局でお薬をもらって頂けます。ただ病院によって使う薬が違いため、最初は薬が十分でない場合もあるかもしれませんが、その際は迅速に対応し多くの場合数日でご用意できるように致します。また一部遠くの薬局に薬を取りにいっておられた方も、全てほたるの薬局で対応可能に準備中です。

薬局の主たる業務は「処方箋」をうけてお薬をお渡しする「調剤」ということになるでしょうが、それだけにとどまらず、当薬局は処方せんの調剤や一般用医薬品の販売、そして何よりもお薬・介護・健康増進に関する相談なども随時受け付けたいと思っています。処方せんがなくても、お薬を買われなくても、お気軽に寄って頂ける「地域の集いステーション」としてぜひお越しください！

2ヶ月の研修を終えた雨宮先生からお礼の挨拶です

副院長の宮地です。ようやく春の息吹がかいま見える時期になりました。

以前の日日草で皆様にお伝えしていましたが、1月中旬より診療所に来ていた雨宮先生がこの3月で2ヶ月間の研修を終えることとなりました。実習にご協力を頂いた皆様には院長の松井と私からもお礼を申し上げます。雨宮先生は、3月中旬から上草野と似た長野県の山村の診療所で勤務されます。

雨宮先生から皆様に挨拶がありましたので、掲載させていただきます。



1月中旬より約2か月間、あざいリハビリテーションクリニックで松井先生、宮地先生の熱心な指導のもとで、地域医療を勉強させて頂いた雨宮です。両先生のみならず、看護師さん、事務の方々、デイケ

アのスタッフの方々が、365日この地域のみなさまが安心して暮らしていけるように、一生懸命に働いている姿に心打たれました。深夜呼ばれてもすぐに駆けつける訪問看護師さん、赤ちゃんから100歳以上の方を家族のように診察され、外来や訪問先で優しく見守ってくれる両先生。雪をいただいた伊吹山に毎朝感動し通ったあざい診療所、外来やご自宅でお会いした時の皆様方の笑顔は長野に帰っても忘れません。ありがとうございました。

今回の2ヶ月間では、地域の皆様が非常に暖かく迎えて下さり、感謝を申し上げます。我々としてもこのあざいで地域のために働く医療者を育てるきっかけを頂いてありがたいと感じています。今後同じような機会があるかもしれませんが、どうぞよろしくお祈いします。

4月の外来案内

内科・小児科外来

畑 Dr, 松井 Dr, 宮地 Dr

	午前 9時～12時	午後 15時～18時
月	○	○
火	○	○
水	○	
木	○	○
金	○	○
土	○	
日		

※ 理事長畑の診療日は
金曜日午後と土曜日午前です。

休診日：水曜日午後、土曜日午後、日曜日及び祝祭日

歯科外来 (予約制)

時田 Dr

診療時間は内科と同じです。

※ 初診・急患は随時受け付けます。

皮膚科外来

小路 Dr

毎週木曜日午後 15:00～18:00

眼科外来 (予約制)

高橋 Dr

4月19日(土) 9:30～12:00

整形外科外来 (予約制)

丹羽 Dr

4月22日(火) 9:00～12:00

4月23日(水) 9:00～12:00

※変更の可能性もあります

編集後記

三月の春分は「昼と夜の長さがほぼ等しくなる」といわれる日で、この日を境に昼間の時間が徐々に長くなっていきます。

春のお彼岸に作る「ぼた餅」は牡丹の花に似せて丸く大きく作られ、秋のお彼岸には萩の花に似せて小ぶりで楕円形につくるため「おはぎ」とよばれています。また、もち米をつかずに練りつぶして作ることから「半殺し」、隣近所が気づかないくらい音でつくから「となりしらず」とも呼ばれています。それぞれの呼び方には言われがあり、作る材料は同じなのに名称だけが違う和菓子です。

在宅ケアを支える職員を募集しています

●看護職

●リハビリスタッフ(OT、PT、ST)

●介護職(夜勤可能な方、常勤登用あり)
利用者宅への訪問医療(看護、リハビリ)と通所リハ、短期入所ケアを組み合わせた利用者が住み慣れた地域と我が家で最期まで安心して過ごしていけるよう支援していきます。

(体験研修、施設見学は随時受け付けます。)

〒1連絡は0749-76-8111(まで)

☆「日日草」購読ご希望の方へ、郵送料をご負担頂けば、郵送させて頂きます。

題字：角川誠様